

プログラム言語論

亀山幸義

筑波大学 情報科学類

論理型プログラム言語

- 「推論=計算」という考え方で設計された言語.
- プログラムは、事実、あるいは、推論規則(事実から事実を導く)として記述.
- どのように推論するかの手順は、記述しない.
- 宣言型プログラム言語 (Declarative Programming Language) の一種.

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

1 / 15

Prolog プログラミング-1

```

is_mother(alice, charlie).
is_mother(alice, eliza).
is_mother(eliza, george).
is_mother(hillary, fritz).
is_husband(bob, alice).
is_husband(fritz, eliza).
is_father(X, Z) :- is_husband(X, Y), is_mother(Y, Z).
is_parent(X, Y) :- is_mother(X, Y).
is_parent(X, Y) :- is_father(X, Y).
is_grandparent(X, Z) :- is_parent(X, Y), is_parent(Y, Z).
is_spouse(X, Y) :- is_husband(X, Y).
is_spouse(X, Y) :- is_husband(Y, X).
is_relative(X, X).
is_relative(X, Y) :- is_spouse(X, Y).
is_relative(X, Y) :- is_ancestor(X, Y).
is_relative(X, Y) :- is_ancestor(Y, X).

```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

2 / 15

Prolog プログラミング-2

```

?- is_mother(X, charlie).
X = alice

```

```

?- is_mother(alice, X).
X = charlie n
X = eliza.

```

```

?- is_husband(alice, X).
false.

```

```

?- is_father(bob, X).
X = charlie n
X = eliza.

```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

3 / 15

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語言

論理型プログラム言語言

4 / 15

Prolog プログラミング-3

```
?- is_parent(X, eliza).  
X = alice n  
X = bob n  
false.
```

```
?- is_grandparent(X, Y).  
X = alice,  
Y = george n  
X = bob,  
Y = george n  
X = bob,  
Y = george n  
false.
```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

5 / 15

Prolog プログラミング-5

解が無限にたくさんある例。

```
% the following code is buggy.  
is_superrelative(X, Y) :- is_relative(X, Y).  
is_superrelative(X, Z) :- is_relative(X, Y), is_superrelative(Y, Z).  
?- is_superrelative(alice, X).  
X = alice n  
X = bob n  
X = charlie n  
X = eliza n  
X = george n  
X = alice n  
X = bob n  
X = charlie n  
X = eliza n  
...  
...
```

Prolog プログラミング-4

```
?- is_relative(alice, X).  
X = alice n  
X = bob n  
X = charlie n  
X = eliza n  
X = george n  
false.
```

```
?- is_relative(eliza, X).  
X = eliza n  
X = fritz n  
X = george n  
X = alice n  
X = bob n  
false.
```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

6 / 15

Prolog プログラミング-6

```
add(X, 0, X).  
add(X, s(Y), s(Z)) :- add(X, Y, Z).  
times(X, 0, 0).  
times(X, s(Y), W) :- times(X, Y, Z), add(Z, X, W).  
power(X, 0, s(0)).  
power(X, s(Y), W) :- power(X, Y, Z), times(Z, X, W).  
fact(N, 1) :- N < 1, ! .  
fact(N, X) :- N1 is N - 1, fact(N1, X1), X is X1 * N .  
append([], X, X).  
append([X | L], M, [X | N]) :- append(L, M, N).  
?- fact(10, X).  
X = 3628800.  
?- append([a, b, c], [d, e, f], X ).  
X = [a, b, c, d, e, f].
```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語言論

論理型プログラム言語言

7 / 15

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語言論

論理型プログラム言語言

8 / 15

Prolog プログラミング-7

append(X, Y, [a, b, c, d, e, f]) とやると何が返ってくるだろうか？

Prolog プログラミング

宣言型プログラム言語 (Declarative Programming Language) の一種.

- 推論=計算.
- プログラム=事実, あるいは, 推論規則.
- ゴール=その事実が成立するかどうかを質問.
- 推論をする手順は, 記述しない.

特徴.

- プログラムの目的=ゴールが成立するかどうか, を求める.
- 求解=ゴール中の変数のある値に対して, ゴールが成立するか?
- 複数の解があることもある.
- あらゆる可能性を網羅的に探索する. 双方向計算が可能.
- 一階述語論理のサブセット (Horn 節論理) に対応.

Prolog プログラミング-8

```
?- append(X, Y, [a, b, c, d, e, f]).  
X = [],  
Y = [a, b, c, d, e, f] n  
X = [a],  
Y = [b, c, d, e, f] n  
X = [a, b],  
Y = [c, d, e, f] n  
X = [a, b, c],  
Y = [d, e, f] n  
X = [a, b, c, d],  
Y = [e, f] n  
X = [a, b, c, d, e],  
Y = [f] n  
X = [a, b, c, d, e, f],  
Y = [] n  
false.
```

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語 10 / 15

論理型プログラマ言語

- Kowalski 1974 が提唱.
- Colmerauer 1973 が Prolog の最初の処理系.
- 日本の ICOT(第5世代コンピュータ・プロジェクト) が大きな貢献.
- 現在でも, 知識表現, 帰納論理プログラミングなどの分野で活躍.

Prolog = Programming in Logic

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語

11 / 15

亀山幸義 (筑波大学 情報科学類)

プログラム言語論

論理型プログラム言語 12 / 15

Prolog 処理系	まとめ
<p>ここでは Linux 上の SWI-Prolog 処理系を使った。 (http://www.swi-prolog.org/)</p> <pre>% swipl Welcome to SWI-Prolog (Multi-threaded, 32 bits, Version 5.6.58) Copyright (c) 1990-2008 University of Amsterdam. ... For help, use ?- help(Topic). or ?- apropos(Word). ?- [test-prolog]. (←ここで test-prolog.pl ファイルの読み込み) [test-prolog]. ... % test-prolog compiled 0.00 sec, 5,280 bytes true. ?- append(X, Y, [a, b, c, d, e, f]).</pre> <p>亀山幸義 (筑波大学 情報科学類) プログラム言語論 論理型プログラム言語 13 / 15</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「推論」を計算過程と見なしたプログラミング言語。 その他にも様々な(驚くような)仕組みを計算の原理に使ったものがあり得る。 <ul style="list-style-type: none"> 量子コンピューティング, DNA コンピューティング, ...
<h3>Quiz</h3> <p>「事実やルール(推論規則)を記述するだけで、プログラムとして動く」という言語は、メリットもデメリットもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> メリット: どのルールをどう使ったら、ゴールとなる事実を導けるか(効率的に導くにはどうしたらよいか)を、プログラマは考えなくてよい。解決したい問題を正確に記述するだけでよい。(プログラミングが楽になる。) デメリット: 常に Prolog 処理系が決めた順序で解を探索するので、効率が必ずしも良くない。(効率を良くしようと思うと、処理系の動きを把握していないといけない。) <p>このような言語が、現実に有用な場面としてどんなものがあるか、想像して書きなさい。</p> <p>参考: 「プログラムの仕様」がそのまま動くものを、executable specification(実行可能な仕様)という。</p> <p>亀山幸義 (筑波大学 情報科学類) プログラム言語論 論理型プログラム言語 14 / 15</p>	